

こたえ チョウとバッタの育ち方

ひょうじゅん
標準 ④

チョウとバッタの育ち方

昆虫は、たまごから生まれて、成虫になるまでに、すがたをかえていきます。けれども、その育ち方は、昆虫によってちがいます。チョウは、たまごから幼虫が生まれ、幼虫はさなぎになります。そして、さなぎから成虫が出てきます。幼虫と成虫では、すがたがまったくちがいます。

いっぽう、バッタは、さなぎになりません。たまごから生まれた幼虫は、はじめから成虫とにたすがたをしていて、何回か皮をぬいで大きくなり、そのまま成虫になります。

トンボも、バッタと同じように、さなぎになりません。このように、昆虫には、さなぎになるものと、ならないものがあるのです。

1 チョウが育つじゅんに、□に1・2・3を書きましょう。

2 さなぎ

3 成虫

1 幼虫

2 バッタの幼虫は、何回か何をぬいで大きくなりますか。

皮

3 チョウとバッタの育ち方は、どこがちがいますか。

チョウはさなぎになるが、バッタはさなぎにならないところ。

4 バッタと同じ育ち方をする昆虫は、どれですか。

ア カブトムシ

イ トンボ

ウ モンシロチョウ

おうちの方へ

- さなぎになる育ち方を「完全変態」、ならない育ち方を「不完全変態」といいます。